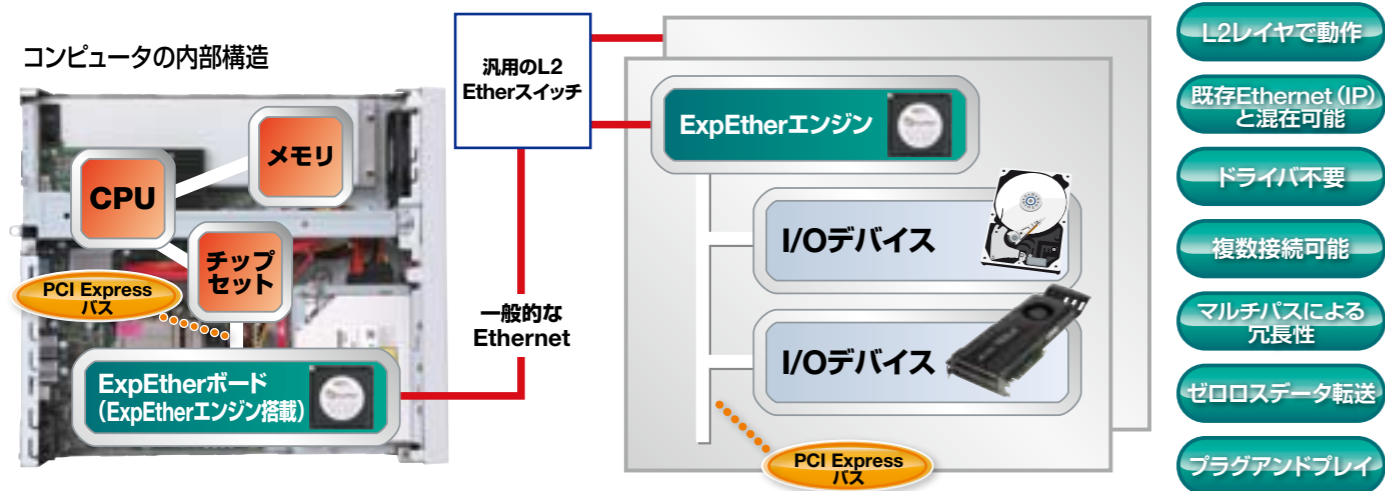


「低遅延」「構成フリー」「スケールアップ」を実現する 世界初画期的技術(特許取得)

ExpEtherとは PCI Expressバスを一般的なEthernet(L2)上で拡張できる技術

本体に増設するのと全く同じように、Ethernet上にコンピュータのIO資源を増設可能



ExpEtherエンジン搭載製品

ExpEtherクライアント

本体の操作部(画面・キーボード・マウス・USB)をネットワーク経由で利用することができる端末。



- 1000BASE-Tx2 (ExpEther接続用)
- DVI-Ix1、HDMIx1
- USB 3.0*1x1、USB 2.0x3
- ヘッドフォン端子x1
- マイク端子x1

N8000-1001A
キーボード/マウスなし
標準小売 価格(税別) ¥35,000

NS8000-1001AS01
キーボード/マウス付き
標準小売 価格(税別) ¥39,000

ExpEtherボード^{*2}

Express5800シリーズでExpEtherを利用するための搭載ボード。



- 1000BASE-Tx2 (ExpEther接続用)
- PCI Express (x1) •Low Profile対応

N8007-101
伝送速度: 2Gbps
標準小売 価格(税別) ¥30,000



- 10G BASE-SFP+x2 (ExpEther接続用)
- PCI Express (x8) •Low Profile対応

N8007-103
SFP+ モジュールなし 伝送速度: 20Gbps
標準小売 価格(税別) ¥158,000

N8007-104
SFP+ モジュール(10G-SR)付き 伝送速度: 20Gbps
標準小売 価格(税別) ¥208,000

ExpEther I/O拡張ユニット^{*3}

USBカード、計測器I/F、グラフィックスのPCI Express規格のボードを搭載してEthernet経由で増設・延長できる収容BOX。

ギガビットイーサ対応版



- USBボード
- LANボード
- RS-232Cボード
- 2Dグラフィックスボード

- 1000BASE-Tx2 (ExpEther接続用)
- PCI Express (x1) (メカニカルx16) ボードx1搭載可能^{*4}
- 本体に複数台接続可能 (ExpEtherボード1枚に対し最大8台まで)

N8000-1003A
標準小売 価格(税別) ¥40,000

10ギガビットイーサ対応版



- 10GLANボード
- 3Dグラフィックスボード
- Infinibandボード
- GPUボード
- SAS/RAIDボード

- 10G BASE-SFP+ x4 (ExpEther接続用) ※各スロットに対しx2使用
- PCI Express (x8) 2スロット(メカニカルx16) ボードx2搭載可能^{*5}
- 本体に複数台接続可能 (ExpEtherボード1枚に対し合計8スロットまで)
- 2台連結でラック搭載可能(厚さ2U)

N8000-1004
SFP+ モジュールなし
標準小売 価格(税別) ¥250,000

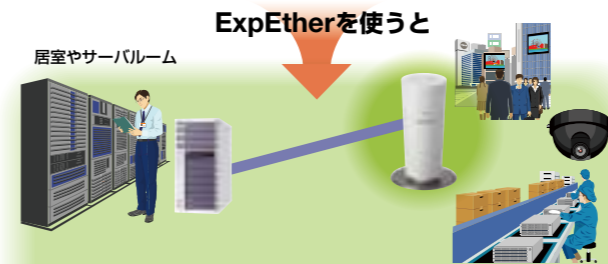
N8000-1005
SFP+ モジュール(10G-SR)x4 付き
標準小売 価格(税別) ¥350,000

*1: データ転送速度はUSB2.0相当です。
*2: アーキテクチャ上、PCI Express搭載機では動作しますが、50シリーズ以外での接続にあたっては、事前にご相談ください。
*3: アーキテクチャ上、PCI Expressのボードは制限なく動作しますが、システム構成上や本体の制約を受ける可能性があります。事前にご相談ください。
*4: 搭載できるボードは消費電力40Wまでとなります。
*5: TESLA K20ボード2枚まで搭載可能となります。

ExpEther活用事例

設置環境を分離できる

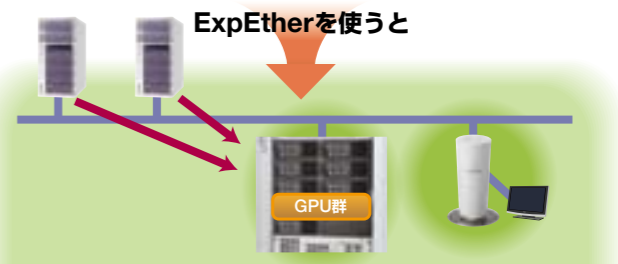
従来の課題 工場ラインのモニタ、サイネージや監視カメラなどでは、設置しにくい場所やメンテナンスしにくい場所にコンピュータを置いて表示せざるをえない。



カメラなどのI/O機器とコンピュータを適材適所に設置でき、かつ高速なデータ処理を実現。データやコンピュータ本体の設置場所を集約できるため、運用管理を大幅に低減できます。

コンピュータの性能を上げる

従来の課題 より高性能のグラフィックボード (GPU) を搭載したいが、本体に実装スペースがない。あるいは本体の拡張性制限で多数搭載もできない。



GPUを収容できるExpEther I/O拡張ユニットにより、複数のホストからEthernet経由でその計算能力が使用可能。高価な高性能デバイスを共有することができます。またExpEtherクライアントで画面表示が可能です。

Software Defined Computerによるリソースプールソリューションを実現する

統一システムでコスト削減

全体最適化による設備コスト、管理の一元化により運用コストをトータルに削減します。

従来の課題 サービスに必要な性能・機能に合わせて、多種多様なコンピュータを用意。

ExpEtherを使うと

柔軟な拡張性により、多様な業務に統一システムで対応。

オンデマンド対応

多彩なサービス要求に、柔軟かつスケラブルに対応します。

従来の課題 ・プラットフォーム構築のリードタイム伸長。
・急なサービス要求に対応が不可能。
・デバイス故障のリスクが増大。

ExpEtherを使うと

・ソフトウェア制御によるシステムの迅速な構築。
・必要なリソースを随時追加が可能。
・デバイスが故障してもソフト制御で交換。

ロケーションフリーでリアルタイム提供

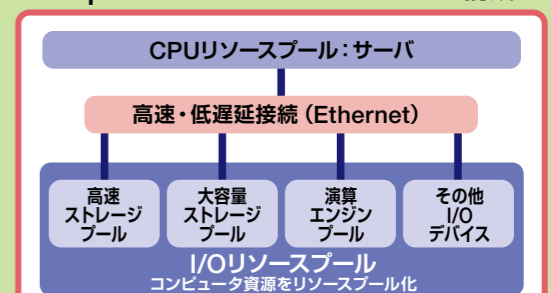
設置場所にとらわれず、高性能サービスをリアルタイムで提供します。

従来の課題 ・設置制約による非効率的な運用。
・階層的な接続や通信オーバーヘッドによるシステム性能の限界。

ExpEtherを使うと

・機器特性に合わせた自由で効率的な設置。
・フラットな接続やダイレクト通信により高性能システムを構築。

ExpEtherによるリソースプールの構成



サービスに必要なコンピュータをソフトウェア制御で構成可能